

報告事項 エ

第2回「とっとり弥生の王国の謎を解く」論文・アイデアの入賞者について

「とっとり弥生の王国の謎を解く」論文・アイデアの入賞者について、別紙のとおり報告します。

平成19年8月20日

鳥取県教育委員会教育長 中 永 廣 樹

第2回「とっとり弥生の王国の謎を解く」論文・アイデアの入賞者について

文 化 課

県内の弥生時代遺跡・遺物に興味・関心を持っていただくため、青谷上寺地遺跡と妻木晩田遺跡から出土した遺物や遺構の中からテーマを設定し、論文・アイデアを募集した。

今年度は、アイデア部門を一般部門と小中学生部門に分けたこともあり、多くの小中学生の参加が得られた。

1 入賞者

部門	賞	氏名	題名
論文部門	1席	田中 精一 (大阪府)	港湾交易集落の誕生と北ツ海連盟の興亡 ー青谷上寺地遺跡・妻木晩田遺跡を中心として
	2席	大島 信衛 (愛知県)	青谷上寺地の世紀
	3席	高橋 宏行 (滋賀県)	妻木晩田遺跡・青谷上寺地遺跡の集落跡と交易の実態
	佳作	西村扶美雄、中谷可奈、小松堯、佐野正芳、今関文男(県内0、県外5名)	
アイデア部門	一般	入賞	内田三夫、江原一哲、高橋宏行、本郷修(県内0、県外4名)
	小中学生	入賞	(中学生 県内0、県外2名) 鬼頭くるみ、丸本 史 (小学生 県内13、県外1名) 根鈴怜治、長谷川大輔、須崎結香、谷口由香、谷口成是、下石 葵、 上田知宙、鬼頭あゆみ、南條佑介、岩本親海、吉田祐賀子、伊藤祐奈、 徳田吹雪、森 啓介

2 応募状況

部門	テーマ・謎	応募数	参考(昨年度)
論文部門	青谷上寺地遺跡・妻木晩田遺跡が語る弥生人の「交流」とは？	17作品 (県内2作品)	2テーマ 31作品 (県内5作品)
アイデア部門	謎1 青谷上寺地遺跡から出土した琴の側板に描かれた動物絵画の謎	一般部門 75作品 (県内26作品)	224作品 (県内46作品) (224作品の内、 小中学生は139 作品 (県内14作品))
	謎2 青谷上寺地遺跡から出土した黒く硬い石を加工したものの謎	小中学生部門 174作品 (県内171作品)	
	謎3 妻木晩田遺跡にある三角建物の謎		
	計	249作品	224作品

3 審査について

- (1) 1次審査会 鳥取県教育委員会事務局において実施
- (2) 2次審査会
期日・会場 : 平成19年8月 7日(火) 教育委員室
審査員 : 金関 恕 (座長・大阪府立弥生文化博物館長)
工楽 善通 (大阪府立狭山池博物館長)
天野 幸弘 (朝日新聞大阪本社記者)
高取 正人 (新日本海新聞社学芸担当デスク)
石井 洋 (青谷上寺地遺跡を学ぶ会会長)
中永 廣樹 (鳥取県教育委員会教育長)
小椋 博幸 (鳥取県教育センター研修企画課長)
久保 穰二郎 (鳥取県埋蔵文化財センター所長)

4 表彰

第8回弥生文化シンポジウムで表彰

日時: 平成19年10月14日(日) 10時30分から

会場: 県民文化会館小ホール